

報道発表

令和7年1月24日
名古屋税関
豊橋税関支署



令和6年分 三河港 貿易概況（速報）の要旨

令和6年分について、輸出は「鉄鋼」などが減少したものの、「自動車」、「その他の化学製品」などが増加したことから対前年比3.1%の増加となった。また、輸入は「鉄鋼」などが増加したものの、「自動車」、「原動機」などが減少したことから、同24.7%の減少となった。

その結果、差引額は2兆8,793億円（同16.0%の増加）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
三河港	3兆7,413億円	+3.1%	8,620億円	▲24.7%	2兆8,793億円	+16.0%
	4年連続の増加		4年ぶりの減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	3兆5,986億円	+3.9%	輸入	増加品目	(1) 鉄鋼	525億円	+15.0%
		(2) その他の化学製品	334億円	+10.2%			(2) 織物用糸及び纖維製品	51億円	+21.2%
		(3) プラスチック	55億円	+50.7%			(3) 重電機器	42億円	+21.4%
	減少品目	(1) 鉄鋼	324億円	▲41.6%		減少品目	(1) 自動車	7,379億円	▲26.8%
		(2) 船舶類	219億円	▲10.5%			(2) 原動機	8億円	▲91.1%
		(3) 自動車の部分品	25億円	▲19.1%			(3) 航空機類	46億円	▲48.6%
地域別動向		北米、アジアが増加、西欧は減少				地域別動向		西欧、アジアが減少、大洋州は増加	

（参考）ドルレートは、150.97円（前年比7.7%、10.8円の円安）であった。

（注）年間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。